

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年の12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。
(各会派の質問時間は〔基礎時間40分＋（会派所属議員数－1）×5分〕となっています）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張を同じくする議員で構成された団体のこと。現在7つの会派があります。
1人でも会派を作ることはできますが、代表質問をすることはできないことになっています。

込チラシでPRしている。個人所有の機械による除雪作業に助成を行っていく。

◆シンボルゾーンの整備は

問 社会情勢の変化を踏まえ基本計画の見直しが必要ではないか。

答 都市計画マスタープランの改定の中で国、県の計画との整合性や議会、地権者会の意見を聞き慎重に判断したい。

◆団塊世代の生きがいづくり

問 団塊世代の皆さんが農業体験できる場をつくっては。

答 農業体験ができる場合は市民農園、ねこの手クラブ、考える農業学習塾がある。今後JA等の協力を得て、農業体験事業について研究していく。

◆団塊世代を地域の担い手に

問 団塊世代の退職者を対象に地区役員の皆さんを通じて支所等に人材登録をしてもらい、それまでの経験を生かし地域の担い手として活動してもらってはどうか。

答 地域のネットワークを利用して人材を発掘することは団塊世代を地域の資源としていく一つの手法であり、地域づくりに携わっていく過程の一つと考えられる。区長会理事会、支所長会議等で研究していきたい。

明政会

質問者 塩原 政治

古厩圭吾・五味東條
森川雄三

質問時間55分

文書管理の充実

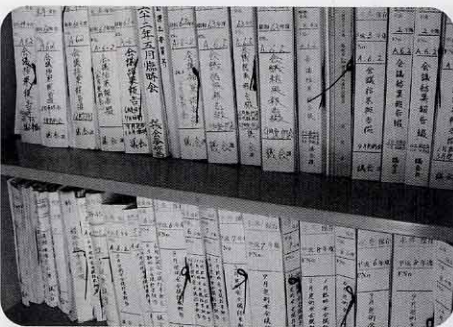
◆文書管理の意識向上は

問 国を含め、文書管理に関わる不祥事について、どのように認識しているのか。

答 文書主義により、事務執行をしている行政においては、極めて重要であると認識している。文書管理についての不祥事が度々続いて起きていることは誠に問題であり、一番の原因は、職員の法令遵守の意識の甘さではないかと認識しており、職員の意識の向上や電子データ管理等については、さらなる対策が必要であり、今後十分検討していきたい。

◆記録の管理は

問 記録管理については。
答 さまざまなお提案をいただいたが、将来的には、総合



文書管理意識の向上と記録管理のシステム化の研究を

文書管理システムを導入することを考えている。電子システム化することにより、作成文書の履歴も明確化され、記録された情報の検索も容易となり、記録の管理も適正に行われるが、導入経費やデータベース化の作業が膨大になることから、現在研究中である。

◆在宅医療の充実は
問 24時間体制で往診を行う在宅療養支援診療所が市内に何力所あるのか、また指定訪問看護事業所は何力所あるのか。
答 平成18年の医療法制改正で新設され、24時間体制で、在宅ケアや在宅医療の中心的な役割を担う「在宅療養支援診療所」は、現在三医療機関であり、24時間体制ではないものの、難病や特定疾患の在宅医療を行う「在宅時医学総合管理料」の届け出は、在宅療養支援診療所と合わせて七つの医療機関が登録している状況で、指定訪問看護事業所は、三事業所である。医師と看護師をどう確保していくのか、大きな課題があり、県における、医療費の適正化計画や地域ケア整備事業の内容を注視しながら、松本地区医療包括推進協議会等関係機関と連携を図りながら、在宅医療の充実を図りたい。

◆全国学力調査の分析は

問 本年4月全国学力・学習状況調査が実施されたが、学力テストについての、しっかりとした分析を行い、子供たちへのきめ細かい指導を行うなどといった形で、教育の質の向上に役立てるためにも、教育課程におけるPDCAサイクルを確立しなければならぬと思いが。
答 今回の調査の目的は、他との比較ではなく、児童生徒の現状を把握し、今後の指導に活用することであり、各学校において、随時、個人の結果をもとに担任・児童・保護者による三者懇談会等の実施や、「学校だより」などで自

校の概要を伝えていきたい。